

2010年7月12日

アルミ樹脂複合板「アルポリック®/A2」を開発
～ヨーロッパの次世代防火規格の防火試験をクリア～

三菱樹脂株式会社

三菱樹脂株式会社（本社：東京都中央区、社長：吉田 宏）は、欧州連合加盟各国で2010年度から順次採用予定の次世代防火規格Euroclass A2 をクリアしたアルミ樹脂複合板「アルポリック®/A2」を開発し、9月から生産を開始致します。当社は、「アルポリック®/A2」の開発を機にさらなる海外での事業拡大を目指してまいります。

「アルポリック®」シリーズは、芯材（ポリエチレン等）の両面にアルミニウム板等を貼り合わせて一体化した三層構造の複合板で、優れた平面性や加工・施工時の取り扱いの良さから、建材をはじめ産業資材や広告看板用途材料として世界100カ国近くで広く使用されております。特に、芯材に不燃の無機材料を加えた「アルポリック®/fr」（国土交通大臣の不燃材料認定を取得）は、国内外を問わずビルの内外装材として長年に亘り優れた評価を得ております。

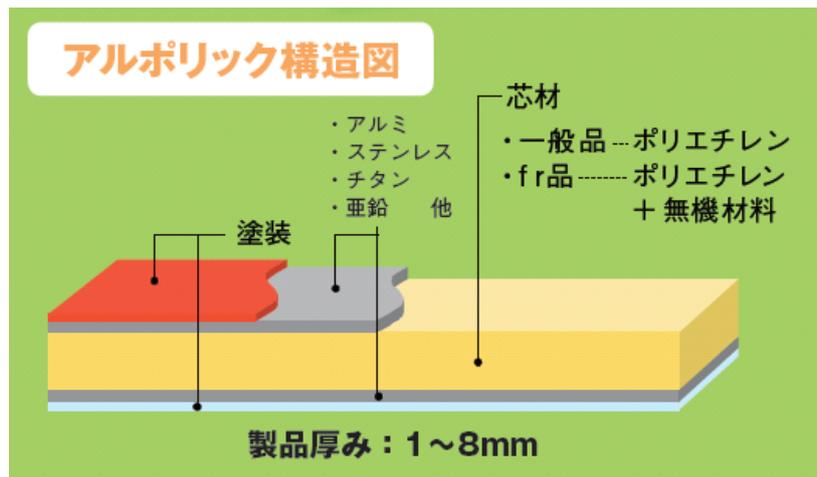
現在、欧州では、欧州連合加盟各国がEuroclassを自国の防火規格として採用しはじめております。このEuroclassは、欧州で最も厳しい防火規格とされているドイツ工業規格（DIN）並みの厳しい規格で、A2はその中で複合板が認定を受けられる最高の等級となります。

今後、欧州市場において建築物の受注拡大には、このA2等級の認定を受けた製品が強く求められていきます。当社は、こうした欧州での要請に対応するため、「アルポリック®/fr」の芯材に改良を重ね防火性能を更に高めた「アルポリック®/A2」を開発し、今般、Euroclass A2の認定を取得いたしました。

当社は、今後、日本国内外の設計事務所へ積極的に「アルポリック®/A2」のPRを行うことによって、欧州を中心とした海外の建築物を受注し、2011年度に10億円の販売を目指して参ります。



「アルポリック®/fr」採用例：シンガポール国立図書館



<本件に関する報道関係のお問合せ先>

三菱樹脂株式会社 総務部広報室

TEL:03-3279-3800